

## 環境会計

当社では環境保全活動に要したコストやその効果を環境会計として把握し、企業経営に活かしています。

### 2001年度の環境会計への取り組み

2001年度の環境会計は、環境省の「環境会計ガイドライン」(2000年度版)に準拠し、下表9項目の分類でデータ集計を実施しました。

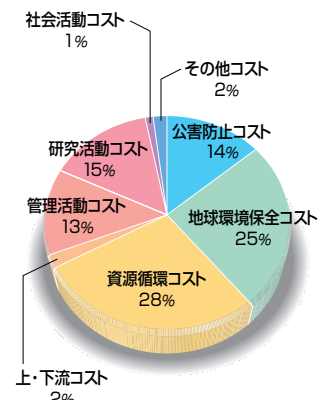
### 2001年度の環境保全コストの分類と実績

2001年度は環境会計を導入した2年目にあたり、当年度から投資効果についても把握を始めました。当社として一定の基準を設けて算出した結果、2001年度における環境会計は総額で約10億1千万円となりました。その内訳は下表のようになっています。

コスト分類	主な内容	2000年度実績金額※	2001年度実績金額※
① 公害防止コスト	大気・水質・騒音等の公害防止費用 排水処理設備の維持管理費用、その他	528.2	140.9
② 地球環境保全コスト	省エネルギー対策費用、温暖化防止費用、その他		250.4
③ 資源循環コスト	廃棄物処理・ゼロエミッション対策費用、その他		292.9
④ 上・下流コスト	生産活動に伴って上流または下流で生じる環境負荷を抑制する費用	0	18.9
⑤ 管理活動コスト	ISO14001維持・更新審査の費用、 ISO14001事務局の人件費用、その他	128.6	129.0
⑥ 研究開発コスト	環境負荷低減のための研究・開発費用、その他	590.9	155.8
⑦ 社会活動コスト	社会貢献活動のための費用、その他	0.9	7.5
⑧ 環境損傷コスト	環境損傷のための費用、その他	0	0.7
⑨ その他のコスト	上記に含まれない費用	0.3	19.6
合計		1,248.9	1,015.7

※ 実績金額とは、「環境投資コスト」及び「環境保全コスト」に関する金額を合計したものです。

単位：百万円/年



### 2001年度の投資効果の分類と実績

投資効果の算定には様々な方法がありますが、確実な根拠のある直接効果のみの集計とし、推測に頼るみなし効果は行わないこととしました。この直接効果において、エネルギーと産業廃棄物処理に係わる物質効果と経済効果の把握を行いました。

	物質効果 ※1			経済効果 ※2			評価
	2000年度実績	2001年度実績	効果	2000年度実績	2001年度実績	効果	
エネルギー使用原単位 (J/百万円) ※3	7,606	8,971	+1,365	—	—	—	×
CO <sub>2</sub> 原単位 (kgC/百万円) ※3	0.173	0.194	+0.021	—	—	—	×
産業廃棄物埋立量 (トン/年)	1,083	818	△265	—	—	—	○
産業廃棄物再資源化量 (トン/年)	13,050	14,186	+1,136	—	—	—	○
エネルギー費用原単位 (円/円) ※3	—	—	—	0.0220	0.0245	+0.0025	×
産業廃棄物処理費用原単位 (円/千円) ※3	—	—	—	0.955	0.993	+0.038	×

※1 物質効果：環境汚染物質等の削減など ※2 経済効果：省エネ・廃棄物の削減など ※3 原単位：売上高に対する諸費用

2001年度の実績は上表のようになり産業廃棄物の再資源化については効果がみられますが、エネルギー・CO<sub>2</sub>関連については前年度に比べ低下しました。今後は今まで実施した施策の成果が得られるよう努力していきます。